

会 議 録

会 議 名	第 1 回「(仮称) 八王子市自転車利用環境整備計画」策定に向けた懇談会	
日 時	平成 27 年 10 月 6 日 (火) 9:30～11:30	
場 所	八王子市保健所別館	
参 加 者 氏 名	参加者	小根山裕之座長、今村忠彦（岫裕之）、岩成政和、高橋恒雄、小松政見（山田栄津子）、田中泰慶、三澤正俊、飯田輝彦（中山登）、三浦俊雄（本堂大輔）、駒沢広行、西山忠、周郷友義 ※()は代理出席者
	説明者	大木昇主査
	事務局	中邑仁志交通企画課長、畠山陽平主事 小島昭仁交通事業課長、高崎昇主査、渡辺富士夫主査、目黒泰始主査、田中崇広主事
欠 席 者 氏 名	—	
議 題	(1) 会議及び議事録の公開について (2) 資料説明 ・ (仮称) 八王子自転車利用環境整備計画の策定について ・ 八王子市の自転車政策 (3) その他	
公開・非公開・別	公開	
非 公 開 理 由	—	
傍 聴 人 の 数	なし	
配 布 資 料 名	・ 次第 ・ 名簿 ・ 資料 1：(仮称) 八王子市自転車利用環境整備計画の策定について ・ 資料 2：八王子市の自転車政策	

会議の内容	1 会議及び議事録の公開について 【参加者】まず初めに会議及び議事録の公開についてお諮りしたいと思う。開催要綱第5条3項に懇談会は原則公開とあるが、本日の会議を公開することについて異議はあるか。 【参加者】異議なし。 【参加者】今回は傍聴人はいないため、傍聴人なしで進めさせていただく。私が欠席の場合の対応も考慮し、座長の代理を決めておきたいと思う。駒沢部長にお願いしたいと思うが、いかがか。 【参加者】異議なし。 2 (仮称) 八王子自転車利用環境整備計画の策定について 【参加者】資料1が策定についてということで、資料2が現状と課題になるが、資料1についてご意見あれば伺いたいと思う。質問だが、ヒアリングを行うことになっているもののスケジュールには明示されていないが、こういった形で実施するのか。 【事務局】現在、大学2校へのヒアリングは終わり、自転車販売店については八王子サイクリング協会の会長を兼務している事業者に話を聞いているところであるため、次の懇談会でまとめて報告させていただきたいと思う。 【参加者】並行で進めながら次回できたところについてはご紹介いただき、次回以降は計画の方向性、基本方針、施策体系等を提示いただきたい。 3 八王子市の自転車政策 【参加者】資料2の現状と課題についてご意見・質問を伺いたいと思う。 【参加者】電動アシスト自転車の利用が増えており、使用する世代として女性や高齢者が多い。そういった観点からみると交通事故が増えてきているが、実際に電動アシスト自転車の影響があるのか関心があるので、調査データが取れるならば今後の参考にとっていただきたい。南大沢の管内では若い人が多いが、電動アシスト自転車は高齢者の使用割合が高いため、その点も考慮していただきたいと思う。 【事務局】電動アシスト自転車については事務局で調べており、出荷台数は増えてきている状況であるが、必要であれば更に調べてみたいと思う。事故については警察にデータがあり協力いただければ、参考にしたい。 【参加者】警察の方にもご協力をお願いしたい。私の住んでいる地区では、子供を乗せている方が多い。 【参加者】アップダウンが多いところでは電動アシスト自転車を利用する傾向が高く、今後、増えてくると考えられるため、少し調べていただいて反映してほしい。
-------	--

【参加者】 ご検討の中で、是非していただきたいことがある。八王子市は全国でも特殊な通勤事情であり、朝が早く、夜が遅いため、早朝 4 時や夜中の遅い時間帯の交通対策が必要である。そうすると照明や凍結などの対応も重要である。自転車の交通量が深夜、早朝の時間帯に多い点を道路管理者としても非常に危惧している。

また、旧由井村地区と八王子地区は交通上断絶しているため、それぞれの地区ごとに考え方を分けて検討していただきたい。

バス事業者との関係については、左側通行の自転車とバスとのバッティングがありトラブルもあるため、バス事業者にもヒアリングしていただきたい。自転車が増えるとバス利用が減るという経営上の問題もあるため、意見聴取が必要だと思う。

浅川ゆったりロードの通路について検討いただくということだが、河川管理用通路が解放されているものの、道路ではない場所であるため難しい。深夜や早朝に自転車を通るため、河川管理上、照明がないことも考慮する必要がある。河川管理用通路を自転車ですぐ活かしていただくか。散歩やランニング、体の不自由な方の利用がある中で、河川管理用通路をどのように位置づけるのか。河川管理者としてどのような対策が必要か把握するため、そちらへもヒアリングをお願いしたい。

【事務局】 ありがとうございます。それぞれ、また別の調査が必要であれば実施したい。バス事業者との関連は、同時並行で今年と来年で八王子市のバスに関する検討も行っている。郊外のバス停の放置自転車の問題もあるため、バス事業者とヒアリングあるいは共同していく考えも進めている。特に市街地の中では、バスの走行空間と自転車の走行空間を共用させることについてどのように安全性を確保するかが課題となるため、バス事業者へのヒアリングを随時実施して、この懇談会にフィードバックしたい。

【参加者】 バスは、朝は早く夜は遅くなっているとあったが、なぜか。

【事務局】 八王子市がベッドタウンであることが主な理由だと考えられる。京王線でバスダイヤを早め、遅めにセットしたと聞いており、特に労働形態の時間早期化、24 時間ストアの増加などもあるが、基本的には都心部への通勤が多いということである。

【参加者】 安全協会として定例的に年末にかけて地域交通安全教室を開催しているが、人集めが大変で、試行しているのはお祭りなどのイベントの際に交通安全アワーなどを作り、安全の啓もう啓発をしている。人集めというのも安全協会としては苦勞しており、出かけて実施している状況である。そういう場を利用して自転車の状況の話もさせていただきたい。

自転車免許制度ということで小学校 3 年生を対象に進めているが、PTAの関係者も出席するため、自転車安全利用五則やヘルメット助成も話しており、父兄も参加してほしいという提案もしているが、なかなか難しい。市としても、教育委員会を通じてお願いしたい。親がルールを守らないと、子どもへの安全教育の効果が半減してしまうため、そういった点も考慮してほしい。

【参加者】 一般への教育指導という話があったが、それについても考えていかなければならないと思う。子どもをキーに教育するという考えや、お祭りに出向くことなど、自治会をうまく使うといった考えもよいと思う。また、一般の教育をしっかりと行っていく必要がある。

【事務局】自転車免許の取組を進めているが、そういったことをきっかけに広げないといけないと考えている。出前講座などを実施しており、老人会にもお呼びいただければ参加しているが、母体をどう増やすかが課題である。安全教育だけとなるとなかなか来てもらえるものではないため、イベントなどで広げていこうと考えている。試行だが、一般の利用者にも広げていくために自転車駐車場の利用者に何かできないかということを考えている。

【参加者】権限がないため指導という立場で交通安全活動を展開している。八王子は昭和30年代には織物の町として活気があり、その後工業都市、学園都市となったため、大量の学生が駅から学校まで集団で移動するようになった。

自転車マナーの教育については街頭で啓発しても自転車は止まらないという実態があるため、学校において集団で効果のある安全教育やっていた方がいいと思う。八王子では交通事故は昔から多く、大きく減少してはいるが、八王子署管内でも人身事故の件数はワースト1であり、その汚名を返上したいと思っているが、せっかくのナビマークも生きていないと感じている。その点に関しても指導が必要ではないかと思う。

今年も子供自転車大会というのがあったが、今回、八王子が全国大会に出場した。高尾が10年連続出場しているものだが、今回、八王子は半分以下の成績で終わった。指導を継続していくことに意義があると思っているため、皆さんの協力なしでは達成できない。事故を起こさないように取り組みたいと思う。

【参加者】先ほど南大沢の話があったように自転車教室を交通公園で小さな子供と両親とを対象に開催している。イトーヨーカドーでセレモニーが開催されたときにも啓発活動を実施した。

早朝から夜遅くまでという自転車利用は否めないが、協力して啓発に努めている。通勤・通学もさることながら、子供を保育園に送らなければならない親が、自転車の前後に子どもを乗せて運転していることがあり、危険に感じる。行楽シーズンは車が多く渋滞がひどいため、コミュニティ自転車という話があったが、利用を考えていただければと思う。

【参加者】中心市街地を担当する署ということで、ナビマークですが駅周辺にひかせていただいた。自転車の場合、左側通行と安全確認を徹底するとかなり事故は少なくなっている。子どもにも実際の教育の場が必要であり、免許教室は非常にいいことだと思っている。父兄も多数来ていただければ、子供を通じて広げられると思う。

【参加者】自転車の位置づけは子どものころから親しんだ一番身近な乗り物であるが、難しい乗り物である。自転車の関与する事故も増えており、スケアードストレイト教育をしているが、中学生の事故も増えている。重大事故はないが、当事者の方にとっては重大だと思うため、安全教育を徹底していきたいと思う。

【参加者】南大沢駅周辺の実証実験の場所だが、ショッピングセンターしかなかったためレーンで対応できたが、周辺に学習塾が増え、子供の迎えの車が駐車して苦情が出ており対応しているところである。いちごっこの状況であるため、抜本的な対策として、レーンを活かしつつ、交通規制を検討しているところである。通行環境の整備に積極的に取り組んで整備計画に寄与できればと思う。

【参加者】実動部隊として、南大沢の自転車レーンは我々が作ったものであるが、使っていない、横断した人が通ってしまうなどの問題がある。ゆったりロードでは自転車の速度が速いため事故も起きており、それが問題となっているため、道路法の道路でないが改善できればと思っている。

また、自転車を使っても停める場所がなく、駅周辺は停められないという問題があるため、駐輪場確保のために南側では用地買収を進めている。現在は、道路上にスタンドを活用するようにしている。

困っているのは大学生であり、イヤホンつけてスピード出して通っているので大学と連携して、かすみ学園通りで何かできないか大学と話を進めている。大学は協力的であるため、八王子警察署にもご協力いただいて進めていきたい。

大学の自転車問題は大学ごとに個別に抱えており、非常に大きな問題となっているため、個別対応していくことで解決する糸口も見えてくる。大学以外の学校も対象として、学校との連携ということで対策していければと考えている。

【参加者】都としては、これまで都道の自転車事故危険箇所等の整備を進めている。現在、箇所ごとにしか整備されていないが、これを連続した空間にできないかということで、国交省、区市等と連携し、4月にオリパラ会場周辺7地区において自転車推奨ルートを設定し、200kmの整備を進めている。

当面は2020年オリパラ大会に向けて自転車推奨ルートの整備に取り組んでいくが、今後はこの取組を都内全域に展開していく。都内全域展開に向けては、各区市のネットワーク計画は重要となっており、八王子市の取組は非常に重要だと思っている。ネットワーク路線の選定にあたっては、国道、都道は交通量が多く規制速度も高いなど、車と自転車との混在は難しい部分もあるため、並行した区市道等も活用できればよいと考える。

バスとの共存という話があったが、幹線道路の一本裏側の道路を自転車利用にあてるなどバスと分けることもあると思う。

【参加者】今回の懇談会については、交通体系を踏まえながら検討するということでは有意義になると思う。16号や20号を管理しているが、バスダイヤも密で、自転車通行量も多い状況である。

区内では246号でバスと共存しているが、歩道が非常に狭く自転車を車道に降ろすことを選択した。国道20号は歩道が4mあり広いが、バスも多いため全体的な交通体系も考えて自転車対策を考えたい。

また、八王子は特に雪対策というのがあると思う。雪が解けても日陰で残っている場合も考えられ、危険であるため、気象条件も踏まえたローカルルールも加えていただきたい。

スタントマンの教育などをされているが、自転車が急に飛び出して危ないということのも大事だが、歩道には高齢者や子供いるということ、高齢者はこういう動きをする、あるいは出来ない動きなどを知ること大事だと思う。

【参加者】 ご意見いただきたいので確認させていただきたい。道路空間の再配分をどうするかをテーマにしたいと思っている。バスとの共存はぎりぎりの中でなされているため、歩道も含めてご提案いただきたい。ネットワークの概念の中で、警察の方で規制がかけられるか。事故で言うと交差点が多いが、あらゆる角度から提示してもらえれば有効になると思う。次回でもいいので議論いただければ助かる。

【参加者】 再配分、規制、交差点対策は重要で、難しい問題だと思うが、考え方も含めて提案いただき、ご議論いただくという理解でよろしいか。

【事務局】 総論よりも具体的な話が大事だと思っている。かすみ学園通りの話があったが、移動動態と事故の起こり方も違っている。作った後に、その効果を最大限発揮していくのかというのが今後の議論となってくるため、次回資料としてお出ししたいと思っている。

【参加者】 空間の再配分の話は、自転車の空間が考えられていなかったものを、必要であれば歩道を削ってという話もあると思うが、ケースバイケースになると思うため、今事務局からあったように具体的な話を見ながら検討していくことになると思う。今日はどういったことを考えた方がいいかを、お聞かせいただくことになったが、これらを踏まえて次回に具体的な内容についてご議論いただくことになると思う。

4 その他

【事務局】 次回のご案内をさせていただく。次回の懇談会は 12 月下旬を予定している。後日、案内を送付させていただきたいと思う。